

## 吊金車による延線施工設計計算の修正内容について

標記プログラムに不具合等が見つかりましたので、修正版をリリースしております。修正内容は下記のとおりです。

Ver	場所	修正内容	備考
2.0.0.1	画面	単独径間での検討において以下の「载荷電力線(ロープ)単位重量」の入力可能範囲の上限を「3.000 => 6.000」に変更。 「計荷重(作業時)条件」における「载荷電力線(ロープ)単位重量」 「設計荷重(最大想定荷重時)条件」における「载荷電力線(ロープ)単位重量」	
2.0.0.2	画面	連続径間での検討において以下の「最大支持点張力」の入力可能範囲の上限を変更。 「展開時」「延線時」「回収時」における「設計条件3」の「最大支持点張力」 CGS : 「100~9000」 => 「100~15000」 S I : 「1.00~90.00」 => 「1.00~150.00」	
2.0.0.3	画面	「延線施工データメンテナンス」において「縦断条件」の「a」の入力範囲を変更。 「0.0~[S(径間長)]」 => 「0.0~[S(径間長)-0.1]」	
	画面	単独径間での検討において「弛度張力計算」画面の「径間長」の入力範囲を拡張。 「10~999」 => 「10~2000」	